

緑の風 FAX版

NO. 85 2019年2月25日 JR東労組



JR 東労組ホームページ

政府は民意を受け止めるべきだ！ 県民投票開催！

辺野古反対

県民投票結果に法的拘束力はない。だが、今後の事業展開に影響を与えないわけがない。

政府は、結果によらず米軍普天間飛行場の移設を名目にした新基地建設を進める考えだ。判断の根拠には「一九九九年に知事と名護市長の受け入れ同意を得て辺野古移設を協議決定した」（菅義偉官房長官）との認識がある。

しかし、当時の稲嶺重一知事と岸本建男市長が表明した十五年の使用期限などの条件付き容認案は二〇〇六年、日米が沿岸埋め立てによる恒久的な基地建設で合意し破棄された。一三年に仲井真弘多知事が下した埋め立て承認も、選挙を経ての決定ではなかった。

沖繩の思い受け止めよ

約七万七千本もの砂杭を打った地盤改良は前例がない難工事が予想される。環境への影響も最大であり、民意を代表する玉城氏は設計変更申請を認めないだろう。

法廷闘争に持ち込んだと政府が勝訴するとは限らない。翁長前知事時代の国と県との裁判は国側勝訴が確定したが、知事選などで示された民意を巡る裁判所の判断

辺野古反対 7割超

知事、日米首脳に通知へ

43万 玉城氏得票超え

投票率 52.48%

2019. 2. 25付毎日新聞

11万 4906票	5万 2676票	43万 4149票
--------------	-------------	--------------

投票率 52.48%

2019. 2. 25付東京新聞

**民意が示された以上、
政府は直ちに工事を中止し、
住民との対話を行うべきである！**



**沖繩の思いを受け止め、
自らがどう行動していくか考えよう！**